

消化器・肝臓センター

NEW - す

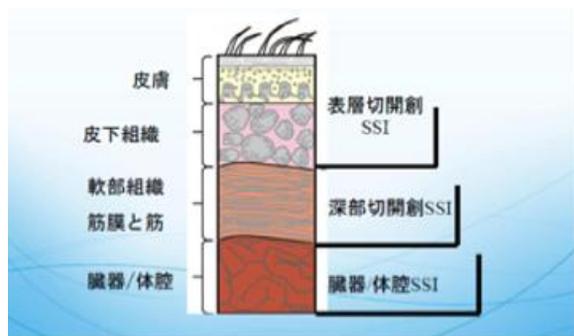
NO. 77



2021.12

SSI(手術部位感染)をご存知ですか？

手術部位感染症（surgical site infection：SSI）とは手術を行った傷口に発生する感染症のことです。消毒技術が確立されていなかった19世紀半ばまでは、多くの人が手術中の感染によって命を落としていました。現在は手術室の換気、滅菌法、手術手技、予防的抗菌薬などの進歩により感染の制御が可能になりつつありますが、依然として手術部位感染症（SSI）は患者さんの術後経過や入院期間に大きく関わってきます。



手術部位感染は深さにより3種類に分類されています。

浅い傷口の感染は外来や自宅での傷口洗浄で対応可能ですが、お腹の中に膿が溜まるような深い感染ではお腹の中に管を入れるなど、再手術が必要になることもあります。



SSIの発生率は手術の種類や手術を行う部位によって違います。厚生労働省によりSSIの発生率が毎年報告されており、胃の手術では7.3%、直腸の手術では11.1%、虫垂炎の手術では4.4%という具合です。SSIの発生率は医療技術や医療用品が大きく進歩することにより減少してきています。腹腔鏡手術の進歩によっても減少してきています。

SSIのリスクファクター

手術要因

- ・長時間手術
- ・不十分な消毒
- ・手術部位の異物
- ・ドレーン挿入
- ・手術手技

患者さん要因

- ・高齢
- ・低栄養
- ・糖尿病
- ・喫煙
- ・肥満

リスクを減らすために手術時間を短くする、不要な管はできるだけ入れない、術野が汚染されないようにする等心がけています。

また、禁煙をする、糖尿病のコントロールを良くする、適正体重を保つことなどでリスクを軽減することができます。

治療

手術の傷口に感染兆候（傷が赤く腫れて痛みがでます）が見られた場合は出来るだけ早期に傷を開き、皮下に溜まった膿汁を積極的に排出します。壊死した組織は取り除き、流水での洗浄を繰り返します。従来行ってきた手術創のイソジン消毒は、傷の治癒に対してマイナスに働くため行っていません。当院では皮膚・排泄ケア認定看護師とともにさまざまな治療を行っています。VAC療法という陰圧創傷治療システムを用いた創傷治療法も積極的に行っています。

外科・消化器外科 谷崎 慶子



市立貝塚病院
TEL: 072-422-5865